報告第６号

一般財団法人「清和文楽の里協会」の経営状況について

地方自治法第２４３条の３第２項の規定に従い、一般財団法人「清和文楽の里協会」の経営状況を地方自治法施行令第１７３条の定める書類を添付し報告します。

平成２９年６月８日提出

山都町長　　梅　田　　穣

平成28年度

事　業　報　告　書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一般財団法人清和文楽の里協会

1．一般財団法人清和文楽の里協会の概況

（1）法人の概況

① 設立趣意書

旧清和村では、昭和 54 年以来緑あふれ文化を尊び豊かで快適な生活のある農村文化村を創造するために『文楽の里づくり』として、清和文楽の伝承、特産品の開発、有機農業の振興、地域の資源である'もの'と人材の活用等をすすめてきました。

１６０年余り伝わる清和文楽は、奉納芝居として豊作祈願と願成のまつりに村人が自ら上演して伝えてきました。この祭りは、村人の豊作への願いと共に厳しい生産活動の潤や休息の日としても大事な年中行事でした。

往時の村人になくてはならなかった祭りも、時代の変遷と共に形態を変え、清和文楽は奉納されなくなり、太夫も後継者がなく、公演回数も年間数回を数える程度になり、保存会員の高齢化が進み存続の危うさを迎えていました。

『文楽の里づくり』は平成４年に清和文楽館として結実し、今年度は出張公演を含め合計 170 回ほどの公演を行い、約５，３００人ほどの入場者があり、そのことによって文化の伝承と地域の活性化を図っております。都市との交流を通じて蘇ったこの清和文楽を後世に伝承するためにも運営主体を磐石にする必要があります。

奉納芝居に持ち寄っていた弁当の『十人重箱』は、旧清和村の食文化も育みました。年中行事の中でも最大の祭りには、材料を吟味し贅をこらした料理やあるいは代々受け継がれた漬物の味が詰められ、味は研ぎ澄まされ、旧清和村の味の原形をつくってきました。このようにして伝えられた郷土料理と農産加工品を提供し食文化を後世に伝えていく必要があります。

清和高原天文台では星座の観望、天体の観測をとおしての都市農村交流や天文現象の情報提供などを行っています。

文楽の里協会は、自然現象や農村文化を発信しながらその伝承や充実を図り、各文化が生き生きと地域の人々の生活の中で存在し、地域の文化水準の高揚と地域の活性化を図ることで住民福祉の向上と充実に寄与し、旧清和村が発展することを目的として設立するものです。

② 設立年月日　平成９年４月１日

③ 目的（定款第３条）

この法人は，山都町清和地域に存在する貴重な資源としての伝統芸能、食文化を伝承、啓発し、また、自然景観を活用することで地域の発展に貢献し、豊かで快適な生活がある農村文化村を創造することを目的とする。

④ 事業（定款第４条）

- 清和文楽の保存伝承及び後継者の育成
- 清和文楽館の管理運営
- 清和地域の食文化の振興
- 清和物産館の管理運営
- 清和地域の自然に関する調査研究及び広報活動
- 清和高原天文台関係の管理運営
- 山都町住民の文化活動の促進

・前各号のほか、この協会の目的達成上必要な事業

⑤ 主たる事務所　熊本県上益城郡山都町大平152番地

⑥ 役員等に関する事項

役員等

理　事　鈴木幸生(理事長)、坂本美喜雄、坂本英博、渡辺　久

評議員　渡辺民生、松田信雄、佐野正月、村手隆、増田公憲、平川知恵美、原田さゆり

監　事　渡辺民雄、澤村祐治

⑦職員に関する事項

清和文楽館　　飯星直子、佐藤義和、岡本　翔

清和物産館　　東　美香、渡辺奈津子、上田真代

清和高原天文台　渡辺　久、山下真衛

⑨ 役員会等に関する事項　(別紙　全体行事経過)

⑩ 許認可等に関する事項　平成23年3月18日一般財団法人移行認可　熊本県知事

(2) 沿　革

平成4年4月25日　清和文楽館落成

平成5年4月25日　清和高原天文台落成

平成6年4月25日　清和物産館落成

平成9年3月31日　財団法人清和村文楽の里協会設立　理事長　甲斐　敏就任

平成10年4月　天文台宿泊棟全１０棟完成

平成11年4月25日　レストラン星座の森落成

平成11年6月8日　理事長　兼瀬哲治就任

平成13年4月1日　道の駅　清和文楽邑落成

平成16年4月24日　清和郷土料理館落成

平成16年11月30日　財団法人清和文楽の里協会へ名称変更登記

平成17年5月26日　理事長　甲斐利幸就任

平成18年4月1日　指定管理者制の下管理運営

平成19年3月27日　理事長　福田幸一就任

平成20年3月　栗加工施設物産館敷地へ移転

平成20年12月　新公益法人制度施行（特例民法法人へ）

平成21年4月1日　指定管理制の下で運営開始（期間5年）

平成21年5月25日　理事長　福田幸一再任

平成23年4月1日　一般財団法人へ移行登記

平成25年6月19日　理事長　鈴木幸生就任　評議員、理事監事改選

平成26年4月1日　指定管理制の下で運営開始（期間5年）

平成27年2月　清和物産館内　売場拡張改修工事

平成27年6月16日　理事長　鈴木幸生再任　評議員、理事改選

平成27年9月　食堂厨房改修工事

平成28年3月　物産館トイレ改修工事

平成28年3月　文楽館事務所増築
平成28年11月　西日本文化賞受賞

（3）加盟組織
熊本県観光連盟／道の駅熊本県分科会／熊本県公立文化施設協議会／全国公益法人協会／熊本東法人会／熊本労働基準協会／上益城観光推進協議会／山都町観光協会／NTT ユーザー協会／町村会／JTB 観光券契約店連盟／熊本教育旅行誘致協議会／山都町商工会

（4）管理施設の概要

施設名	主要用途	主な設備
清和文楽館	劇場・資料館・文化ホール	客席２００席
清和物産館	物産展示即売、食文化試食販売	食堂１２０名
清和郷土料理館	食文化試食販売・多目的ホール	大食堂１２０名、個室２０名
栗加工所	栗菓子製造	
清和高原天文台	天体観測・宿泊・食堂	天文台、宿泊棟１０棟、レストラン
道の駅トイレ 及び駐車場	公衆トイレ 駐車場	男子トイレ5、女子トイレ4 多目的トイレ1、駐車帯59台（大型3）

2．全体行事経過

期　日	行　事	備　考
4月18日	平成27年度決算監査	
4月22日	理事会	3月末運営状況・地震による被害について
5月21日	理事会	平成27年度事業報告及び決算書類等の承認について
6月10日	評議委員会	事業報告、決算報告
6月30日	理事会	5月末運営状況について
7月20日	理事会	6月末運営状況について
8月29日	理事会	7月末運営状況について
9月16日	理事会	8月末運営状況について
10月1日	上半期実地棚卸	
10月12日	上半期決算監査	
10月12日	理事会	上半期決算報告

11月14日	理事会	10月末運営状況について
12月11日	理事会	11月末経営状況について
1月16日	理事会	12月末経営状況について
2月10日	理事会	1月末運営状況について
2月27日	理事会	平成29年度事業計画について
3月15日	理事会	2月末運営状況について
3月31日	決算実地棚卸	

3. 利用者数等

〔単位：人件〕

施　設	項　目	平成28年度	平成27年度
文楽館（人）	公　演	5，328	4，964
	見　学	731	904
	その他	375	360
	合　計	6，434	6，228
天文台（人）	天文台	994	1，317
	宿　泊	1，436	1，587
	合　計	2，430	2，904
物産館 ﾚｼﾞｶｳﾝﾀｰ数（件）	売　店	46，497	55，812
	食　堂	10，160	11，299
	合　計	56，657	67，111

各施設の事業報告

（1）清和文楽館

① 平成28年度は、2年間の研修を修了した3名の成果報告会を機に清和文楽が益々発展していくもの期待していたが、熊本地震後、予約のキャンセルが相次ぎ活動の場が激減した。このままでは、技芸の維持、向上が出来なくなると思い、協会では活動の場を求め営業活動を強化した。そのご縁でいろいろな方々のご協力を頂き、県内、県外各地で公演を行うことが出来た。（出張公演 26件）また、このような活動を認めて頂き「西日本文化賞」という栄えある賞を受賞することが出来た。沢山の方々の温かいご支援、ご協力に感謝の意を込めて取り組んだ「絵本太功記」も職員、保存会一丸となり8年ぶりに復活させることが出来た。

見学売上274千円（前年度371千円）、公演鑑賞売上5,074千円（前年度4,979千円）、出張公演5,473千円（前年度3,999千円）、公演回数は174回（前年度162回）と見学以外前年を上回った。

② 施設管理部門

劇場 客席天井安全確認作業（町負担）

火災受信盤交換 落雷による故障（町負担）

浄化槽ポンプ取替え（町負担）

管理運営に関する基本協定書「別記管理業務仕様書」に基づいて良好な状態を維持管理し館内の清掃業務、緑化管理、保守点検、防火管理などサービス面、安全面について管理を行った。また、老朽化・経年劣化による施設・設備の営繕箇所については町へ随時報告している。

【伝承事業】

開催日	事 業 名	動員数等（人・回）28年度／27年度	備 考
通 年	定期公演・予約公演	174回／162回	ミニ公演含む
4月9日	成果報告会	368人	日高川入相花王
4月10日	成果報告公演		日高川入相花王
4月29日～5月5日	GW特別公演	41人 ／246人	6回 傾城阿波の鳴門
8月13日～15日	おかえりなさいフェスタ	80人 ／156人	6回 日高・壷坂
9月11日	清和文楽の里まつり	406人／370人	2回 日高川
10月8日	薪文楽	191人／196人	阿波鳴・雪おんな
11月8日～12日	淡路招聘公式練習（人形指導）		絵本太功記
11月21日～29日	淡路へ手直し（太夫・三味線）		絵本太功記
12月24日～26日	淡路招聘公式練習（人形指導）		絵本太功記

1月2日	新春特別公演	43人／12人	絵本太功記
3月27日	西日本文化賞記念公演	200人	阿波　県劇　姜館長講演

【対外事業】

開催日	事 業 名	備 考
7月8日	ニュースカイホテル出張公演	
7月10日	フレスポ鳥栖出張公演	
8月4日	長野県いいだ人形劇フェスタ出張公演	
8月17日	南阿蘇国民休暇村出張公演	
9月6日	八千代座出張公演	
9月9日	宮崎市大塚公民館出張公演	
9月10日	延岡総合文化センター出張公演	
9月17日	九州国立博物館出張公演	
9月19日	熊本市白藤ニュータウン公民館出張公演	
9月23日	飯塚市　あかね園出張公演	
10月1日	久留米市篠山コミュニセンター出張公演	
10月16日	熊本市北部公民館出張公演	
10月22日	えーるピア久留米出張公演	
10月29日	熊本クレア出張公演	
11月3日	大牟田文化会館出張公演	
11月5日	遠賀郡水巻町南部公民館出張公演	
11月15日	宮崎市宮崎東小学校出張公演	
11月20日	護国神社出張公演	
12月4日	福岡市パピオビールーム出張公演	
12月16日	宮崎県門川町総合文化会館出張公演	
2月4日	八千代座出張公演	
2月5日	熊本市南部公民館出張公演	
2月18日	大分市　大分コンパルホール出張公演	
2月25日	宮崎市佐土原公民館出張公演	
3月4日	福岡県太刀洗ドリームセンター出張公演	
3月20日	熊本市託麻公民館出張公演	

【自主文化企画事業】

開催日	事 業 名	動員数等(人) 28年度／27年度	備　考
12月3日	年忘れ玄海竜二一座公演	375／332	2回公演
12月15日	文楽館杯グランドゴルフ大会	54／65	懇親会有

【中庭利用実績】

開催日	事 業 名	備 考
4月～3月	グラウンドゴルフ　(57回)	地元地区、各種団体、大会等
9月11日	文楽の里まつり会場使用	

【地元小中学校に関する関連事業】

開催日	事 業 名	備 考
5月～2月	文楽クラブ(清和小)　三味線指導　1回60分	12回　12月学習発表会
5月～3月	総合的な学習(清和小) 6年生対象　人形、太夫、三味線　1回60分	24回 12月学習発表会 3月町内小学校6年生披露
8月1日・2日	文楽講座(清和小・清和中)	
10月8日	文楽所作踊り(清和中学校)	薪文楽

【施設管理業務】

開催日	事 業 名	備 考
通年	道の駅トイレ清掃(朝夕2回)	
通年	電気設備点検	1回/月(九州電気保安協会
通年	浄化槽保守点検	2回/月(大谷清掃公社)
通年	閉館時の警備	業者委託(九州警備)
通年	文楽邑周辺美化作業(芝刈、草刈)	
8月	上益城消防立ち入り検査	
9月	消防設備点検	業者委託(中九州アイエス)
2月	消防設備点検	業者委託(中九州アイエス)
9月	消化訓練	

〔2〕清和物産館

清和物産館は２２年目を迎えた。経常収益計は１０９，９７９千円、経常費用計１０３，８９９千円でした。

熊本地震の人的、建物等への被害は少なかったが道路状況や風評被害の影響は大きく９月頃までの予約がキャンセルになった。地震直後は町内外の予約が経営を支え８月から個人客、９月から団体客が動き始め、１１月からシンガポールのインバウンド旅行、３月は東京から修学旅行の利用があった。外販や通販等対外的な活動や職員研修を強化した。臨時雇用３名（内1名は11月から職員）を雇用した。

部門毎の事業報告は次の通り。

（売店）

品質管理（賞味期限の確認）、日常の経理業務（伝票整理、売掛管理、仕入）改善に取り組み、商品の動向を把握するためポスレジの活用を図った。店頭販売を徹底。イオン延岡への外販や清和文楽公演での物販を強化した。お節通販も昨年を上回る売上があった。レジ係２名店頭販売１名の配置を徹底した。

（栗加工）

地震の影響で原料が欠品し主力商品の栗笑いが４か月製造できなかった。その間定番のちゃぐりあんや栗羊羹と代替え商品のマロンパイを製造販売した。

本年も栗が高騰し、栗笑いは9月より小売価格１８０円（税込１９４円）を２００円（２１６円）に栗渋皮煮・甘露煮も価格改定した。

売店との連携強化し原価計算を徹底し経営の安定化を計った。

（野菜）

売場面積が拡大したが、需要と供給のバランスが悪く、棚に空きがある日も多かった

地震後イオン延岡店での外販が続き、手数料なしでの販売ができた。

供給体制を充実させるために計画的な作付や販売計画、品質管理、出荷者の増員が必要である。

（店頭販売）

後半は徹底して対面販売を行いアイスクリーム、肉まん、甘酒等を、大型連休は生産者とヤマメや野菜を販売した。

（食堂）

昨年から継続し９月まで郷土料理研修を実施した。文楽膳やだご汁膳など郷土料理を主としカツ丼等軽食も展開した。材料原価の高騰や未入荷もあり、献立内容及び単価の見直しを実施。

（研修）

４～9月郷土料理研修（末吉希巳子氏）。３月竜北・道の駅食堂視察。

（修繕）

ポスレジ修理（協会負担）・トイレセンサー修理（協会負担）・レトルト機温度センサー（協会負担）茹で麺器（山都町負担）三口コンロ、二口コンロ、丼用コンロ（山都町負担）冷凍冷蔵庫（協会負担）

（主な行事）

時　　期	事　業　名	事　業　内　容
4/29～5/5	GW フェスタ	タケノコバイキング・対面販売他
4～9 月	郷土料理研修	講師；末吉希巳子氏
6/1～6/14	山都新茶市	新茶販売・お茶席・釜炒実演
6/4.5.7.14.18.19.28	物販	イオン延岡
7/12	物販	フレスポ鳥栖
7/5.9.10.28	物販	イオン延岡
8/6～11	絵本カーニバル	料理館使用
8/11	スターフェスタ物販	カレー
9/11	文楽の里まつり	
10/29	物販	上益城復興フェア（益城再春館）
10/11	物販	イオン延岡
10/30～11/2	物販	東京ビッグサイト
11/3	物販	大牟田公演
11/4	物販	福岡肉フェス
11/5	物販	北九州公演
11/9	商談会	くまもとの赤（福岡市）
11/10～11/11	物販	上益城フェア（ビプレス）
11/20	物販	菓子祭り（熊本市護国神社）
12/6.13.20.27	物販	イオン延岡
12/16	物販	門川公演
12/25～	お節荷造り・発送	1300 個
1/1～1/3	お正月メニュー	
1/27	物販	イオン延岡
2/3	恵方巻き	
2/13	清和中郷土料理体験	
3/28	物販	イオン延岡

清和高原天文台

平成 28 年度は 4 月に発生した熊本地震により大型望遠鏡の使用不能、宿泊予約の取り消しが発生するなど 7 月前半まで営業に大きな影響を受けた。

その結果、平成 28 年度清和高原天文台の決算は、全体売上額 18,525,084 円（うち指定管理委託料 5,518,519 円）、経常費用合計 20,062,909 円、当期経常増減額はマイナス 1,537,825 円であった。

九州各県への営業活動も行ってきたが本施設の認知度は低く、天体観測だけでなく、素晴らしい自然景観のＰＲにも努め、今後の集客に繋げていきたい。

（天文台）

本年度の観測者数は 994 人（前年度 1,317 人）でＧＷ、スターフェスタなど夏期の観測者数が伸び悩んだ。町内外の小学校見学利用が 4 校（久木野 19　花園 97　蘇陽南 30　蘇陽 20）あり、今後も学校の天文台利用を進めたい。

開催したイベントはスターフェスタ、ペルセウス座流星群、双子座流星群、スーパームーン、初日の出観望会などを開催してきたが、不良で観測中止となるイベントもあり、冬期の寒波、観測時間帯の晴天率の低さなど天候に左右される施設であることを再認識した。

望遠鏡操作及び星空ガイドの研修会を計 4 回実施し、最低限の知識が習得でき、実践で活かしていきたい。

尚、見学者には、天文に詳しくない方でも分かりやすい天体や星空の案内に努め、天文ファンづくりやリピーターに繋げていくことを心がけて運営を行った。

（宿泊・レストラン）

本年度の宿泊利用者数1,436人（前年度1,587人）、利用棟数は471棟（前年度509棟）、

1棟平均宿泊数は3.05名（前年度3.12名）でファミリー層、カップル層の利用者が目立った。特に熊本地震復興割りの活用（7月～12月）は、収入増につながった。

インターネット（じゃらんネット）による宿泊の取引額は、売上げ全体の約半数を占めた。

今後、天体観測を絡めた宿泊プランの他、周辺の自然環境を活かした宿泊プランを開発して稼働率を上げていく必要がある。

また、雨天時は天体観測だけに頼らないも営業内容も検討し、顧客満足度を高める対策も課題である。

（施設管理）

4月地震による大型望遠鏡の修繕は町負担により、6月下旬に完了した。

建物の老朽化、経年劣化による修繕、備品の更新が必要とされる箇所が多く見受けられた。小規模修繕は自己対応してきたが、今後も観測室を含む設備機器の経年劣化、建物の老朽化や破損が懸念され、町当局へ報告・相談をしていく。

周辺の環境整備は、キャビン周辺及び樹木の剪定などを徹底して行い、大幅に改善され今後も継続していく。

(主な行事)

開　催　日	行　事　名	備　考
6/1～6/30	星に願いを七夕の願い事大募集	10 枚応募
6/3～26 日	初夏の晴空・星空御茶会	全日雨天
7/1. 2. 3. 7. 8. 9. 10	七夕星めぐり観望御茶会	7/1～3 日全日雨天 7/7～10　15 人
7/15～18	大型望遠鏡復活祭	新聞記事紹介
7/20～12 月末	九州復興割引販売開始	
8/1-4	イオンモールクレア写真展示	メガスター公開イベント
8/11	清和高原スターフェスタ	朝日自治振興区共催
8/12	ペルセウス座流星群観望会	約 100 名
8/30-31	望遠鏡操作研修会（職員 5 名）	天文ハウストミタ
9/13-15	第 1 回　天文研修会（職員 7 名）	市立博物館　野村講師
9/15	仲秋の名月観望会	曇天のため観測中止
11/14	スーパームーン観望会	天候不良
11/16-18	第 2 回　天文研修会（職員 7 名）	市立博物館　野村講師
11/17～18	しし座流星群観望会	天候不良
12/14	双子座流星群観望会	天候不良の為、中止
1/1	初日の出観望会	約 100 名
1/3	しぶんぎ座流星群観望会	
1/12	満月明り観望会	天候不良
3/19	野焼き（天文台周辺）	井無田集落共同
3/22-24	第 3 回　天文研修会（職員 4 名）	市立博物館　野村講師

決　算　報　告　書

自　28　年　4　月　1　日

至　29　年　3　月　31　日

熊本県上益城郡山都町大平152

一般財団法人　清和文楽の里協会

1373 一般財団法人　清和文楽の里協会
（様式１－４）

貸借対照表内訳表

平成 29 年 3 月 31 日　現在

（単位：円）

勘定科目	実施事業等会計	その他会計		法人会計	合計
	清和文楽館	天文台	物産館	法人会計	
Ⅰ　資産の部					
１．流動資産					
現金預金	4,889,033	1,057,363	9,704,224	728,585	16,379,205
未収金	738,904	10,600	683,897	0	1,433,401
前払金	7,530	11,420	8,830	0	27,780
貯蔵品	0	23,994	221,170	0	245,164
商品	0	95,885	185,879	0	281,764
材料（物産館）	0	0	476,079	0	476,079
加工材料（物産館）	0	0	2,756,585	0	2,756,585
材料（天文台）	0	60,945	0	0	60,945
立替金	0	80,463	0	0	80,463
流動資産合計	5,635,467	1,340,670	14,036,664	728,585	21,741,386
２．固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産預金	0	0	0	30,000,000	30,000,000
基本財産合計	0	0	0	30,000,000	30,000,000
(2) 特定資産					
後継者育成預金	0	0	0	10,615,045	10,615,045
設備投資修繕資金	0	0	0	42,314,813	42,314,813
協会備品資金	0	0	0	2,532,000	2,532,000
財政運営資金	0	0	0	23,330,388	23,330,388
特定資産合計	0	0	0	78,792,246	78,792,246
(3) その他固定資産					
車両運搬具	340,969	0	495,000	1	835,970
什器備品	2	0	6	0	8
ソフトウェア	0	0	0	510,365	510,365
建物付属設備	0	0	3,960,810	0	3,960,810
その他の固定資産合計	340,971	0	4,455,816	510,366	5,307,153
固定資産合計	340,971	0	4,455,816	109,302,612	114,099,399
資産合計	5,976,438	1,340,670	18,492,480	110,031,197	135,840,785
Ⅱ　負債の部					
１．流動負債					
買掛金	0	0	2,158,915	0	2,158,915
未払金	1,698,245	1,232,665	3,807,477	530,786	7,269,173
預り金	25,600	43,200	119,713	△ 81,864	106,649
内部会計仮受金	28,312,574	593,180	△ 3,200,353	△ 25,705,401	0
仮受金	99,697	113,555	161,103	0	374,355

（単位：円）

勘定科目	実施事業等会計	その他会計		法人会計	合計
	清和文楽館	天文台	物産館	法人会計	
未払法人税等	0	0	71,000	0	71,000
未払消費税等	422,327	276,991	1,646,882	0	2,346,200
流動負債合計	30,558,443	2,259,591	4,764,737	△ 25,256,479	12,326,292
２．固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	30,558,443	2,259,591	4,764,737	△ 25,256,479	12,326,292
Ⅲ　正味財産の部					
１．指定正味財産					
基本財産	0	0	0	30,000,000	30,000,000
指定正味財産合計	0	0	0	30,000,000	30,000,000
２．一般正味財産					
一般正味財産	△ 24,582,005	△ 918,921	13,727,743	105,287,676	93,514,493
正味財産合計	△ 24,582,005	△ 918,921	13,727,743	135,287,676	123,514,493
負債及び正味財産合計	5,976,438	1,340,670	18,492,480	110,031,197	135,840,785

1373 一般財団法人　清和文楽の里協会
（様式２－４）

正味財産増減計算書内訳表

平成 28 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

勘定科目	実施事業等会計	その他会計		法人会計	合計
	清和文楽館	天文台	物産館	法人会計	
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
1．経常増減の部					
(1) 経常収益					
【基本財産運用益】	【　0】	【　0】	【　0】	【　25,366】	【　25,366】
基本財産受取利息	0	0	0	25,366	25,366
【天文台販売収入】	【　0】	【　225,936】	【　0】	【　0】	【　225,936】
物品販売売上	0	95,586	0	0	95,586
受託販売手数料	0	45,625	0	0	45,625
受託販売売上	0	84,725	0	0	84,725
【郷土料理事業収入】	【　0】	【　6,250,546】	【　21,840,077】	【　0】	【　28,090,623】
天文台郷土料理収入	0	6,250,546	0	0	6,250,546
物産館郷土料理収入	0	0	21,840,077	0	21,840,077
【受取利息収入】	【　110】	【　63】	【　110】	【　84】	【　367】
受取利息	110	63	110	84	367
【利用料金収入】	【　12,287,540】	【　6,362,222】	【　74,075】	【　0】	【　18,723,837】
公演料金収入	5,074,390	0	0	0	5,074,390
見学料金収入	274,796	0	0	0	274,796
観測料収入	0	397,892	0	0	397,892
宿泊利用料金収入	0	5,964,330	0	0	5,964,330
施設利用料金収入	233,336	0	74,075	0	307,411
企画事業収入	1,111,112	0	0	0	1,111,112
出張公演収入	5,473,536	0	0	0	5,473,536
派遣事業収入	120,370	0	0	0	120,370
【受託事業収入】	【　16,238,149】	【　5,518,519】	【　0】	【　6,000,000】	【　27,756,668】
受託料収入	15,898,149	5,518,519	0	0	21,416,668
町費補助金等収入	340,000	0	0	6,000,000	6,340,000
【物産館販売収入】	【　0】	【　0】	【　81,550,511】	【　0】	【　81,550,511】
物産館販売売上	0	0	38,955,854	0	38,955,854
受託販売手数料	0	0	14,556,326	0	14,556,326
受託販売売上	0	0	28,038,331	0	28,038,331
【加工事業収入】	【　0】	【　0】	【　5,606,506】	【　0】	【　5,606,506】
加工事業収入	0	0	5,606,506	0	5,606,506
【雑収入】	【　1,478,706】	【　167,798】	【　908,160】	【　13,742】	【　2,568,406】
雑収入	1,478,706	167,798	908,160	13,742	2,568,406
経常収益計	30,004,505	18,525,084	109,979,439	6,039,192	164,548,220
(2) 経常費用					
【事業費】	【　32,556,572】	【　20,062,909】	【　103,899,404】	【　0】	【　156,518,885】
期首棚卸高	0	204,780	4,058,659	0	4,263,439

（単位：円）

勘定科目	実施事業等会計	その他会計		法人会計	合計
	清和文楽館	天文台	物産館	法人会計	
物品販売仕入	0	307,757	58,447,042	0	58,754,799
郷土料理仕入	0	2,573,892	8,488,067	0	11,061,959
加工事業仕入	0	0	2,664,272	0	2,664,272
期末棚卸高	0	180,824	3,639,713	0	3,820,537
給料手当	12,127,627	7,258,143	7,435,492	0	26,821,262
臨時雇賃金	6,053,130	1,952,315	12,141,739	0	20,147,184
福利厚生費	1,470,405	814,303	669,927	0	2,954,635
法定福利費	2,073,792	1,268,574	2,075,963	0	5,418,329
旅費交通費	1,640,617	35,371	271,819	0	1,947,807
通信運搬費	257,702	265,367	810,261	0	1,333,330
事務用品費	200,174	13,518	53,231	0	266,923
消耗品費	779,138	472,817	904,243	0	2,156,198
修繕費	70,621	123,282	171,800	0	365,703
印刷製本費	228,558	44,039	349,125	0	621,722
燃料費	551,959	111,271	287,697	0	950,927
光熱水料費	2,418,570	1,759,136	5,317,324	0	9,495,030
賃借料	306,668	672,554	357,600	0	1,336,822
保険料	48,470	60,150	240,040	0	348,660
諸謝金	897,284	56,167	98,294	0	1,051,745
租税公課	57,914	55,009	46,815	0	159,738
支払負担金	147,988	6,000	116,278	0	270,266
減価償却費	0	376,887	694,120	0	1,071,007
委託費	2,808,185	1,360,608	1,241,972	0	5,410,765
販売促進費	0	0	159,117	0	159,117
雑費	184,435	123,207	434,220	0	741,862
研修費	233,335	328,586	4,000	0	565,921
【管理費】	【 0】	【 0】	【 0】	【 4,164,981】	【 4,164,981】
役員報酬	0	0	0	2,320,000	2,320,000
福利厚生費	0	0	0	367,597	367,597
会議費	0	0	0	99,451	99,451
旅費交通費	0	0	0	49,359	49,359
通信運搬費	0	0	0	600	600
事務用品費	0	0	0	53,000	53,000
諸謝金	0	0	0	69,632	69,632
租税公課	0	0	0	3,894	3,894
支払負担金	0	0	0	205,300	205,300
委託費	0	0	0	800,000	800,000
減価償却費	0	0	0	195,648	195,648
雑費	0	0	0	500	500
経常費用計	32,556,572	20,062,909	103,899,404	4,164,981	160,683,866
評価損益調整前経常増減額	△ 2,552,067	△ 1,537,825	6,080,035	1,874,211	3,864,354

（単位：円）

勘定科目	実施事業等会計	その他会計		法人会計	合計
	清和文楽館	天文台	物産館	法人会計	
当期経常増減額	△ 2,552,067	△ 1,537,825	6,080,035	1,874,211	3,864,354
2．経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	226,596	△ 1,428	△ 712,713	487,545	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,325,471	△ 1,539,253	5,367,322	2,361,756	3,864,354
法人税、住民税及び事業税	0	0	71,000	0	71,000
一般正味財産増減額	△ 2,325,471	△ 1,539,253	5,296,322	2,361,756	3,793,354
一般正味財産期首残高	△ 22,256,534	620,332	8,431,421	102,925,920	89,721,139
一般正味財産期末残高	△ 24,582,005	△ 918,921	13,727,743	105,287,676	93,514,493
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	30,000,000	30,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	30,000,000	30,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高					
正味財産期末残高	△ 24,582,005	△ 918,921	13,727,743	135,287,676	123,514,493

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

①棚卸資産の評価基準及び評価方法
　商品等の評価方法は、最終仕入原価法によっている。
②消費税等の会計処理
　消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

当期において消費税等の会計処理を税込方式から税抜き方式に変更しております。
なお、これによる経常増減額および一般正味財産増減額への影響は軽微である。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	30,000,000			30,000,000
小　　計	30,000,000			30,000,000
特定資産				
後継者育成資金	10,615,045			10,615,045
設備投資修繕資金	42,314,813			42,314,813
協会備品資金	2,532,000			2,532,000
財政運営資金	23,330,388			23,330,388
小　　計	78,792,246			78,792,246
合　　計	108,792,246			108,792,246

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産預金	30,000,000	(30,000,000)	( )	( )
小　　計	30,000,000	(30,000,000)	( )	( )
特定資産				
後継者育成資金	10,615,045	( )	(10,615,045)	( )
設備投資修繕資金	42,314,813	( )	(42,314,813)	( )
協会備品資金	2,532,000	( )	(2,532,000)	( )
財政運営資金	23,330,388	( )	(23,330,388)	( )
小　　計	78,792,246	( )	(78,792,246)	( )
合　　計	108,792,246	(30,000,000)	(78,792,246)	( )

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
【文楽館】			
キャラバン	2,256,810	1,915,842	340,968
軽トラック	702,470	702,469	1
火の見櫓の段絵幕	367,500	367,499	1
阿波の鳴門　幕	420,000	419,999	1
【天文台】			
【物産館】			
物産館売店改装工事	1,101,600	229,500	872,100
物産館食堂改装工事	3,132,000	495,900	2,636,100
物産館トイレ改修工事	507,600	54,990	452,610
軽ワゴン	880,000	385,000	495,000
ストアコントローラー	1,127,500	1,127,499	1
ポスレジ	192,500	192,499	1
ポスレジ	192,500	192,499	1
ポスレジ	192,500	192,499	1
ポスレジ　食堂	388,500	388,499	1
ポスレジ　郷土料理館	388,500	388,499	1
【法人会計】			
サクシードバン	857,140	857,139	1
ソフトウェア	620,000	620,000	
販売管理システム	874,908	364,543	510,365
合　　計	14,202,028	8,894,875	5,307,153

6. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出張公演助成金	山都町役場		340,000	340,000		
熊本地震助成金	山都町役場		6,000,000		6,000,000	
合　　計			6,340,000	340,000	6,000,000	

7. その他

特になし。

附属明細書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

1．基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	基本財産預金	30,000,000			30,000,000
	基本財産計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産	後継者育成預金	10,615,045			10,615,045
	設備投資修繕資	42,314,813			42,314,813
	協会備品資金	2,532,000			2,532,000
	財政運営資金	23,330,388			23,330,388
	特定資産計	78,792,246	0	0	78,792,246

平成29年4月17日

監 査 報 告 書

一般財団法人清和文楽の里協会
理事長 鈴 木 幸 生 様

一般財団法人清和文楽の里協会
監 事 渡邊民雄
監 事 澤村祐治

私たち監事は、当協会の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の理事の職務の執行についての監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益社団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当協会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に伴い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書の監査結果

① 計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

② 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。